

八ヶ岳歩こう会 会報

■新年のご挨拶 会長：進藤律子

『被災地にとどけて欲しい北杜の青空』

新年おめでとうございます会員の皆様には穏やかな新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

新年早々下手な五七五の挨拶の始まりとなってしまいましたが、能登から帰った翌朝溜まった洗濯物を干しながら澄んだ冷たい空気の中晴れ渡る青空を見てつくづく北杜市に住む幸せを感じました。

能登の濃いグレーの荒れた日本海、どんより曇った空、その間に倒壊した建物、崖の様に崩れた道路、デコボコの生活道路、大きく×の張り紙のついた民家昨年1月1日の衝撃の能登地震から1年、曇み掛ける様な洪水災害から3ヶ月能登はほとんど変わっていない現実でした。

幸いにも北杜から能登へ何回もボランティアに行っている大工の野々村さんの能登の現状を聞く事ができ(とにかく現地に行き見て、感じて、応援する事が大事)と思い切って歩こう会有志で「能登応援ツアー」にと12月初め現地に行く事が出来ました。

目を背けたくなる様な惨状の数々でしたがその中で現地の皆さんは何とか頑張っている様子でした特に女性が元気なのが嬉しかったです、仮設の食堂の母娘さん、ホテルのフロントさん、道の駅の店員さん、とても大変だった事を笑顔で切々と話してくれました。

ほんの少しでしたがお財布の紐を罪悪感ゼロで緩めた4日間でした。

遠く離れた私達に出来る事は(知る事、忘れ無い事、できる事をする)だと思います、いつどこで起きるか分からない災害を自分事と捉えて歩こう会でも出来る限り『能登応援募金』を続けたいと思っています御協力を宜しくお願いします。

去年は25周年の節目の年でした。

「歩いて楽しむ鰻絵」の冊子発行、尾瀬の秋を楽しむウォーク等々数々の例会、例会の小さなアルバム作りと様々な活動が出来ました、皆様の御協力に心から御礼申し上げます。

今年も「歩ける事に感謝して」楽しく元気に歩こう会を盛り上げて行きたいと思っています御協力と応援どうぞ宜しくお願いします。

皆様の本年のご健勝とご活躍を祈念して新年の挨拶と致します。

■事務局からのお知らせ

◎年末に散髪にでかけた。同じ屋根の下で親父さんが理髪店、息子が美容室を営んでいる。1軒を二つに分けて年末はフル回転、と思ったが「最近は何だか年末だからといって特に散髪に来てくれることはないですね」と息子氏が言った。「特に女性は年末より謝恩会の季節の方が混雑します」とおっしゃる。ふ〜ん、そんなものかねと思ったが、確かにその日は電話してすぐその日の予約がとれた。最近は何だか正月だからといって着飾って写真を撮ったり、お客様が来たり、年始の挨拶に出かけたりと、面倒なことが少なくなっているようだ。我が家もそうだが、年を取って社会とあまり関係がなくなり、せいぜい子供たちが帰って来る程度の正月なら、特に散髪をする理由もない。そもそも大掃除だって適当に済ませた。おせち料理も近頃は買ってきたものをそのまま重箱に並べればそれなりに見えて便利だ。少子化社会で老人ばかりの世の中では、今後もそんな社会となっていくだろう。ま、しかし、自分だけは気分新たに新年を迎えたいので散髪に出かけた、という訳です。年をとると自分と身の回りを「こざれいにしておく」ことが大事とテレビで言ってましたし。何も予定のない日でもきちんとした服装で過ごすなどなど。わかっちゃいるけど。今年目標にするかな。皆さん、今年目標を決めましたか？ 西暦2025年は昭和100年だそうです。何か例年よりおめでたい気がしますね。良い一年と致しましょう。本年もよろしく願いいたします。

【2025年1月の行事詳細】

■1月7日(火) 甲府七福神巡りウォーク



甲府七福神は、山の手通り辺りに祀られています。ゆっくり、順番に廻って参拝していきます。周辺は、都市再開発などで残念ながら昔の面影が少なくなっています。そんな中で、甲府城三ノ堀跡の名残が、微かに残っています。また、昭和の文豪・太宰治が散歩したと言われている道を辿ります。昔の面影を探しながらのウォーキングになると思います。

コースにおいては、スタート地点より華光院辺りまで登りになります。後は、アップダ

ウンが少ないコースになります。今年最初の例会になります。最初が大事だと思ひまして、一段と元気をだして頑張っていきます。

- ・コース：甲府駅北口(トイレ)→華光院→行蔵院→玄法院→御崎神社→緑ヶ丘スポーツ公園→(昼食・トイレ)→弘法湯→塩澤寺→清運寺→甲府駅北口(トイレ)
- ・距離：約 11 k m
- ・集合：JR 甲府駅北口：武田信虎公像前 10：00
上り 小淵沢駅 8：48→甲府駅 9：39 下り 塩山駅 9：26→甲府駅 9：47
- ・解散：甲府駅北口 15：00 頃
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
- ・担当：田中哲夫(090-4927-5044) 伊藤 清

■1月8日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10：00

【2025年2月の行事詳細】

■2月25日(火) 歩きたくなる古い街並み第一回・赤沢宿(セツブンソウ)



今回は、マイクロバスにて早川町・赤沢宿を訪れます。初めての試みになります。走行距離(平田家住宅前～南アルプスプラザ)往復・190KM位になります。結構な走行距離になります。途中にて、走行する国道ではダンプカーが走っているのが目につきます。自動車の安全運転などを考えまして、マイクロバスにしました。尚・各自で自動車で運転して来られる方は、安全運転をお願いします。早川町・南アルプスプラザにて、合流します。

赤沢宿は、江戸時代から昭和初期にかけて、聖地・身延山と霊山・七面山を結ぶ宿場町として栄えました。旅籠屋は、所狭く軒を連ねています。今は、商いを行っている旅籠屋は、二軒のみになってしまいました。そんな中で、タイミングが良ければ江戸屋さん

の大広間を拝見させて頂けるとおもいます。また、石畳みは往時の佇まいを今に残しています。時代劇にでてきそうな街並みには、歴史を感じさせます。(国選定重要伝統的建造物群保存地区) 指定されています。

タイミングが良ければ。春を告げる、セツブンソウ・フクジュソウの花を見ることができきます。

コースにおいては、スタート地点より江戸屋さん迄、登りになります。遊歩道が整備されています。残りのコースは、アップダウンが少ない歩き易いコースになっています。楽しいウォーキングにしていきます。

- ・コース：早川町南アルプスプラザ(トイレ)→赤沢宿(散策)→江戸屋さん→そば処・武蔵屋(昼食・トイレ)→福寿草園広場→白糸の滝・お萬の方銅像→羽衣橋→七面山道の一部(トイレ)→南アルプスプラザ(トイレ)
- ・距離：約10KM
- ・集合：南アルプスプラザ(住所・早川町高住650)・自動車を運転して来られる方も、南アルプスプラザに集合します。 10:30
駐車場、本建警察官駐在所の隣にあります。
- ・解散：南アルプスプラザ 15:00頃
- ・参加費：会員300円 一般500円
- ・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
- ・担当者：田中哲夫(090-4927-5044) / 恵星富子 / 望月澄子

※マイクロバス乗車場所：平田家住宅前(8:00)→穴山駅(8:30)→甲府駅北口(9:00)→道の駅富士川(9:40)→南アルプスプラザ(10:30)

南アルプスプラザ(15:30)→道の駅富士川→甲府駅→平田家住宅前(17:30)

定員23名(茅が岳観光バス、マイクロバス)

マイクロバス代 1人/4400円(バス代は、参加者数等により増減の可能性あります)

申込み：バス乗車地と携帯番号を添えて申込願います。

定員になりましたのでバスの申し込みを締め切りました。

※そば処・武蔵屋(そば定食)予約できません。1200円 申込先：田中哲夫(090-4927-5044)
そば定食の申し込みは締め切りました。

【2025年3月の行事詳細】

■3月4日(火) 歩きたくなる古い街並み第二回・右左口宿(梅の花)

■3月5日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10:00